

LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）に沿った作成手順

■ソフトウェアとバージョン : Mercury-ONE Ver.2

■OCF 検定認証番号 : 17118070202

◆路線縦横断から作成した設計（三角網）データを出力する場合

①路線縦横断のデータ作成後、[横断計画] – [3D モデル] – [3D モデル作成]を実行



②リボンメニューより、[データ書込み] – [LandXML]を実行

※「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）」に準拠 チェック ON

出力設定 ? ×

「LandXML1.2 に準じた3次元設計データ交換標準(案)」に準拠(L)

現場情報(Project)		座標管理(CGPoints)	
現場名(G)	○○地区道路改良工事	<input checked="" type="checkbox"/> 座標データを出力する(C)	
備考(B)		<input checked="" type="radio"/> すべての座標を出力(A)	
		<input type="radio"/> 座標を選択して出力(E)	座標選択(S)...

路線・縦横断情報(Alignments)			
路線名(N)		道路規格(M)	第1種第1級
		設計交通量(T)	1 (台/1日)

路線測量データ名	最終更新日時	縦横断測量データ名
<input checked="" type="checkbox"/> 路線測量1	2019/04/23 10:24:47	縦横断測量1

③作業終了

◆平面図から作成した設計（三角網）データを出力する場合

①CAD データに平面図を作成する

※CAD 要素に Z 値を与える

②リボンメニューより、[専用作用] - [3D] - [3D モデル作成]を実行



③リボンメニューより、[データ書込み] - [LandXML]を実行

※「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）」に準拠 チェック ON

The image shows the '出力設定' (Output Settings) dialog box. The checkbox 'LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準(案)に準拠(L)' is checked and highlighted with a red box. The dialog box contains several sections for configuring output settings.

現場情報(Project)

現場名(G) ○○地区道路改良工事
備考(B)

座標管理(CGPoints)

座標データを出力する(C)
 すべての座標を出力(A)
 座標を選択して出力(E) 座標選択(S)...

路線・縦横断情報(Alignments)

路線名(N)
 道路規格(M) 第1種第1級 設計交通量(T) (台/1日)

路線測量データ名	最終更新日時	縦横断測量データ名
<input checked="" type="checkbox"/> 路線測量1	2019/04/23 10:24:47	縦横断測量1

詳細設定(D)... 路線レビュー(P)... 縦横断選択(J)... 縦横断解除(O)

OK キャンセル

④作業終了